

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複B類型	日常生活の指導	① 道徳「きみのこころをつよくするほん」（主婦の友社） ② 理科「きょうのそらはどんなそら」（大日本図書）			
目標	<p>(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。</p> <p>(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など <p>「朝の会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など <p>「学校生活全般」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き <p>「トイレの使い方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生、健康、エチケット など <p>「帰りの準備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など <p>「下校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱 など 	①②	<p>(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。</p> <p>時計や曆の使い方を理解する。</p> <p>食事のマナーを守って食べることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。</p> <p>見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。</p> <p>自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするこことができる。</p>	学級 個別	169
1 学期授業時数					169
2 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など <p>「朝の会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など <p>「学校生活全般」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き <p>「トイレの使い方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生、健康、エチケット など <p>「帰りの準備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など <p>「下校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱 など 	①②	<p>(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。</p> <p>時計や曆の使い方を理解する。</p> <p>食事のマナーを守って食べることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。</p> <p>見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。</p> <p>自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするこことができる。</p>	学級 個別	195
2 学期授業時数					195
3 学期	<p>「登校時」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け ・着替え など <p>「朝の会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など <p>「学校生活全般」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまり、約束 ・健康、手洗い、水分補給 ・係の仕事 <p>「給食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の準備、食事、片付け など ・歯磨き <p>「トイレの使い方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生、健康、エチケット など <p>「帰りの準備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など <p>「下校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、靴の着脱 など 	①②	<p>(知) 登下校時の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。</p> <p>時計や曆の使い方を理解する。</p> <p>食事のマナーを守って食べることができる。</p> <p>(思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。</p> <p>見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。</p> <p>(学) 健康で安全な生活をするように心掛けて行動することができる。</p> <p>自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとするこことができる。</p>	学級 個別	91
3 学期授業時数					91
総授業時数					455

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学校部 第1学年 重複0類型	生活単元学習	①社会「子どものマナー問題（1）ふだんの生活のマナー」（徳成社） ②健康「どうももろもろから」（日本文学社）（小学館） ③理科「きょうのそらはどんなそら」（大日本図書） ④職業・家庭「おてつだいの結晶」（金の星社）			
目標	(加) 様々な体験や活動を通して、社会生活や集団生活に必要な知識や技能を身に付ける。 (鬼) 身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解を深めるとともに、自分の考えを表現したり、選択したりする力を付ける。 (学) 人や物と関わりながら、最後まで意欲的に学ぼうとする態度を身に付ける。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「新しい友達や先生、学校を知ろう」 ・自己紹介、個人、学級目標の設定 ・1学期の行事等について ・学校の使い方、ルールについて ・教室の場所について	①	(知) 学級のルールや学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (鬼) 自分のことを学級の友達に紹介したり、友達のことを知らうとすることができる。 (学) 校内の教室について、その役割や場所について理解することができる。 (鬼) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達などに自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとする可以尝试。 校内の教室について知り、積極的に利用しようとする可以尝试。	学年 学級	5
	「新入生歓迎会」 ・準備、新入生歓迎会		(知) 中学校の先輩等について知ることができる。 (鬼) 自己紹介で自分のことを知ってもらうためにできることを考えたり、伝えようとする可以尝试。 (学) 中学校の生活に期待感をもつ可以尝试。	学部 学級	2
	「育てて食べよう1」 ・畑作り、見野菜の苗植え、観察記録、収穫	③	(知) 野菜の育つ時期やシャベルなどの道具の扱い方、道具を使って耕す方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 (鬼) 必要な道具を選択しながら活動することができる。 (学) 植物の成長について知り、植物を育てたり、観察したり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気付く、成長の様子を表現することができる。 (学) 畑での野菜の栽培を通して、自然や植物を大切にしようとする可以尝试。	学級 グループ	9
	「校外学習に行こう」【校外学習】 ・交通ルールの確認、練習 ・行き先について調べる ・校外学習		(知) 学校周辺において、地形や公共施設、公園などについて知ることができる。 (鬼) 学校周辺の施設までの行き方等やその施設の役割等について考えることができる。 (学) 学校周辺について興味をもつ可以尝试。	学年 学級	7
	「調理しよう1」 ・調理室の使い方について ・食器洗い等	④	(知) 調理室の物品の使用の方法や場所について知ることができる。 (鬼) 用具の安全な使い方について考える可以尝试。 (学) 今後の調理実習に期待感をもつ可以尝试。	学級	3
	「中1まつりを頑張ろう1」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店巡り、片付けなど		(知) 活動への見通しをもち、集団での簡単な役割について理解し、行動することができる。 (鬼) きまりを守ることの大切さを考えたり、自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 友達と協力することの大切さに気づき、より良い関係をつくろうとする可以尝试。	類型 学年 グループ	11
	「1学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除、1学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (鬼) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学年 学級	2
1学期授業時数					39
2 学期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・2学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつ可以尝试。 (鬼) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達などに自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとする可以尝试。	学年 学級	2
	「中1まつりを頑張ろう1」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店巡り、片付けなど		(知) 中1まつりの役割に見通しをもつ可以尝试。 (鬼) きまりを守ることの大切さを考えたり、自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 友達と協力することの大切さに気づき、より良い関係をつくろうとする可以尝试。	学年 学級 グループ	8
	「不思議を見付けよう1」 ・天気の様子		(知) 天気の様子について知ることができる。 (鬼) 天気に応じた服装や行動を考え、新聞等まとめて表現することができる。 (学) 天気によって服装や行動が変わることに気付く、適切な対応しようとする可以尝试。	学級 グループ	7
	「日本と外国について知ろう1」 ・日本や外国の食生活について ・日本との違い	②	(知) 日本や外国の文化について知り、日本の違いを知ることができる。 (鬼) 食生活について日本と外国を比較したり、体験したりすることに関心を持って、感じたりすることができる。 (学) 学習したことを日本でもかかろうとする可以尝试。	学級 グループ	7
	「調理しよう2」【食育】 ・電子レンジやホットプレート、ケトル等を使用した調理	④	(知) 調理の手順を考えたり、準備から片付けまでの工程の見通しをもつ可以尝试。 (鬼) 電子調理器の使い方を理解し、安全に調理することができる。 (学) 安全に調理しようとする可以尝试。調理の仕方を自分なりに工夫しようとする可以尝试。 (学) 調理の工程や料理の出来上がり、味、食べ方について関心をもち、自分で調理しようとする意欲をもつ可以尝试。	学級	9
	「運動会を頑張ろう1」 ・事前学習、招待状作り、ポスター作り ・事後学習		(知) 運動会の競技内容や日程、練習日程等が分かり、見本を参考に招待状を作成することができる。 (鬼) 運動会を頑張る気持ちで頑張ったことが分かる。 (鬼) 頑張りたいこと等を表現したり、招待状作りで工夫して作成しようとする可以尝试。 (学) 運動会に向けて意欲的になり、楽しみにすることができる。	学級	4
	「チャレンジタイム1」 ・学級の実態に応じた指導 ・買物学習 ・お楽しみ会の準備、運営など		学級の実態に応じた指導目標	類型 学級	6
「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除、2学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (鬼) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学年 学級	2	
2学期授業時数					45
3 学期	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・3学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつ可以尝试。 (鬼) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表したり、友達の発表を聞いたりすることができる。 (学) 友達などに自ら働きかけ、一緒に活動するなど協力して学級をより良いものにしようとする可以尝试。	学年 学級	2
	「チャレンジタイム2」 ・学級の実態に応じた指導 ・自分や生命の誕生について ・体の仕組みについてなど		学級の実態に応じた指導目標	類型 学級	8
	「卒業生を祝おう1」 ・卒業生を送る会準備、卒業生を送る会		(知) 卒業生を祝う会を知ることができる。 (鬼) 卒業生に向けて、何ができるかを考えたり、伝えたりすることができる。 (学) 卒業生を祝う気持ちをもつ可以尝试。	学部 学級	3
	「育てて食べよう2」 ・畑作り、じゃがいもの種芋植え、観察記録	③	(知) 野菜の育つ時期やシャベルなどの道具の扱い方、道具を使って耕す方法、収穫の仕方などを知り、道具等を操作することができる。 (鬼) 必要な道具を選択しながら活動することができる。 (学) 植物の成長について知り、植物を育てたり、観察したり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気付く、成長の様子を表現することができる。 (学) 畑での野菜の栽培を通して、自然や植物を大切にしようとする可以尝试。	学級	3
「1年生を振り返ろう」 ・頑張ったね会、教室掃除		(知) 感じたことや考えたことを工夫して表現する知識や技能を身に付け、発表することができる。 (鬼) できるようになったことや経験して感じたことなどを思い出し、その中から表現したいことを工夫して伝えることができる。 (学) 振り返り動画や写真等を見て、次の学期へ意欲を高めることができる。	学年 学級	5	
3学期授業時数					21
総授業時数					105

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複B類型	作業学習			
目標	<p>(知) 働くために必要な習慣(挨拶、報告・依頼・返事、身だしなみ、準備・片付け)を知り、慣れることができる。</p> <p>(思) 働く場にふさわしい言葉遣いや声の大きさを報告や依頼、返事をしたり、安全に道具等を扱おうとしたりすることができる。</p> <p>(学) 働くことへの関心を高め、自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業学習について知ろう」 ・作業学習の目的、内容の理解	(知) 作業学習がどんな学習か、体験を通して知ることができる。 (思) 体験を通して、自分ができることや得意なことを発表することができる。 (学) 作業学習が将来働くことにつながることを理解し、今後の学習に期待感をもつことができる。	学級	2
	「作業を経験しよう1」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種類から一つを取り組む。それぞれの指導内容は、以下の通り。 【陶芸】 ・粘土を伸ばす、切り取る、整えるなどの基礎練習 ・小皿・箸置き作り(成形、やすり掛け、色付け) ・ラッピング ・振り返り 【手工】 ・ビーズ通し、刺し子、ステンシルなどの基礎練習 ・ランチマット作り、雑巾作り ・振り返り 【クラフト】 ・牛乳パックを使用した紙すき(はさみで切る、線を引く、ラミネートをはがす、紙をちぎる、シュレツダーをかける、ミキサーの使用、簡易紙すきキットの使用) ・紙すきはがきへの装飾 ・紙を使用した作業 ・振り返り <共通> ・準備、片付け ・掃除	【陶芸】 (知) 粘土を握ったり、道具を使って伸ばしたりすることができる。 (思) 道具の名称や安全な使い方、小皿の作り方などを知ることができる。 自分の得意な工程を見付けたり、終わったことの報告をしたり、分からないときに助けを求めたりすることができる。 集中して作業することができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 【手工】 (知) 道具の名称や使い方を知ることができる。 (思) 自分の作業量を決めたり、終わったことの報告をしたり、分からないときに助けを求めたりすることができる。 静かに集中して作業することができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 【クラフト】 (知) 道具の名称や安全な使い方を知ることができる。 (思) 紙すきの方法や材料の加工の仕方を理解することができる。 自分の得意な工程を見付けたり、終わったことの報告をしたり、分からないときに助けを求めたりすることができる。 静かに集中して作業することができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。	学級 グループ	18
	上記3種目から1種目を選択			6
1学期授業時数				26
2 学 期	「作業を経験しよう2」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1」で選択した種目以外の一つを取り組む(作業内容は、上記の内容と同様)	上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	12
	「作業を経験しよう3」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1・2」で選択した種目以外の一つを取り組む(作業内容は、上記の内容と同様)	上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	18
2学期授業時数				30
3 学 期	「作業を経験しよう4」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、の一つを取り組む(作業内容は、上記の内容と同様)	上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	8
	「中2・3の作業を見学しよう」 ・中学部第2・3学年の作業学習の見学をする。 ・中学部マーケットに参加する。	(知) 見学等を通して、来年度から作業の種目が変わることを理解することができる。 中学部マーケットに参加することで、どんな製品を作っているのかを知ることができる。 (思) 見学や中学部マーケットを通して、来年度やってみたい作業種目について考え、発表することができる。 (学) 見学や中学部マーケットを通して、来年度へ向けて期待感をもつことができる。	学級	5
	「1年間を振り返ろう」 ・1年間に行った三つの作業種目についての頑張りを振り返る。	(知) 一年間をとおしてできるようになったことを振り返り、自分ができるようになったことが分かる。 (思) 振り返りを通して、頑張ったこと等を考えたり、発表したりすることができる。 (学) 自分ができるようになったことから自己肯定感を高めたり、2年生からの作業学習に期待感をもつことができる。	学級	1
3学期授業時数				14
総授業時数				70

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複B類型	国語 (A)	①生活の図鑑カード くだものやさしいカード1集(くもん出版)			
目標	(知) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (思) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「やり取りの学習をしよう!」 ・呼名に対して、返事や挙手をする。 ・言葉、カード、タブレット型端末などを使用して、日常生活でよく使用する言葉の学習をする。	①	(知) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思) 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりする。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を養う。	個別	
1学期	「いろいろな言葉を知ろう!」 ・発声練習をする。 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・日常生活で使用する言葉(挨拶、動詞・名詞等)の学習を行う。	①	(知) 身近な人との会話を通じて、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 遊びややり取りを通して、言葉による表現を親しむことができる。 (思) 簡単な指示を聞き、その指示に応じた行動をすることができる。 挨拶をしたり、簡単なせりふなどを表現することができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を養う。	学級 個別	19.5
1学期授業時数					19.5
2学期	「語句や文を読もう!」【読書指導】 ・発声練習をする。 ・絵本や写真、映像に示された身近な事物や生き物等に注目する。 ・物語に出てくる人物や物の名称を理解する。 ・物語の一場面や登場人物の動きを模倣する。	①	(知) 昔話や童謡の歌詞などに読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑に興味をもつことができる。 (思) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を養う。	学級 個別	22.5
2学期授業時数					22.5
3学期	「平仮名や片仮名の学習をしよう!」【読書指導】 ・絵本等を通して、平仮名文字に親しむ。 ・様々な筆記具の使用に慣れる。 ・線引きや線つなぎ、なぞり書きをする。 ・平仮名文字のマッチングをする。	①	(知) いろいろな筆記具を用いて書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思) 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 自分の名前や物の名前を文字であらわすことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり、伝えたりしようとする態度を養う。	学級 個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複B類型	国語 (B)	①もじのえほんあいうえお (あかね書房)			
目標	<p>(知) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>(思) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。</p> <p>(学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「やり取りの学習をしよう!」 ・呼名や話し掛けに対して返事や挙手をしたり、発語、発声、身振りなどで応答する。 ・簡単な言葉で挨拶をしたり、自分の思いを伝える。 ・言葉、カード、タブレット型端末などを使用して、日常生活でよく使用する言葉の学習をする。	①	(知) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思) 相手に伝わるよう、発声や声の大きさに気を付けることができる。 (学) 図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	個別	
1学期	「いろいろな言葉を知ろう!」 ・発声練習をする。 ・筆記具を使用して、線引きやなぞり書きをする。 ・写真や具体物を用いて、人や物のマッチングをする。 ・日常生活で使用する言葉(挨拶、動詞・名詞等)の学習を行う。	①	(知) 日常生活でよく使う促音、長音、などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり、行動したりすることができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	学級 個別	19.5
1学期授業時数					19.5
2学期	「語句や文を読もう!」【読書指導】 ・発声練習をする。 ・絵本や写真、映像に示された身近な事物や生き物等に注目する。 ・物語に出てくる人物や物の名称を理解する。 ・物語の一場面や登場人物の動きを模倣する。	①	(知) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子を想像することができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を養う。	学級 個別	22.5
2学期授業時数					22.5
3学期	「平仮名や片仮名の学習をしよう!」【読書指導】 ・絵本等を通して、平仮名文字に親しむ。 ・様々な筆記具の使用に慣れる。 ・線引きや線つなぎ、なぞり書きをする。 ・平仮名文字のマッチングをする。 ・漢字の学習をする。	①	(知) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり、受け止めたりしようとする態度を養う。	学級 個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複B類型	数学 (A)	①くまたんのはじめてシリーズおいしいおいしい1・2・3 (小峰書店)			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き、理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表したり柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「数と計算の学習をしよう1」 (数と計算) ・同じ・多い・少ないについての学習 ・1対1対応、1対多対応 ・ものの数と数詞を対応させること ・ものの数や数詞と数字を対応させること ・ものを数えたり、書き表したりすること ・数の大きい小さいが分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	<p>(知) 5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもつことができる。</p> <p>(思) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級個別	10
	「図形の学習をしよう1」 (図形) ・色や形、大きさに着目して分類すること ・ものを目的、用途及び機能に着目して分類すること ・丸、三角、四角という名称を知ること ・縦や横の線、十字、△や□を書くこと ・形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること		<p>(知) 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして形の性質に気付く力を身に付ける。</p> <p>(学) 図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級個別	9.5
1学期授業時数					19.5
2 学期	「数と計算の学習をしよう2」 (数と計算) ・同じ・多い・少ないについての学習 ・1対1対応、1対多対応 ・ものの数と数詞を対応させること ・ものの数や数詞と数字を対応させること ・ものを数えたり、書き表したりすること ・数の大きい小さいが分かること ・一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと ・具体的を加えたり、減らしたりする学習	①	<p>(知) 5までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもつことができる。</p> <p>(思) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級個別	10.5
	「測定の学習をしよう1」 (測定) ・長さ、重さ、高さ、広さなどの量の大きさの理解 ・二つの大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること ・生活経験や経験を通して、長い・短い、重い・軽い、高い・低い、広い・狭いの用語の理解		<p>(知) 身の回りにおける具体物の大きさに注目し、量の大きさの違いが分かるとともに、二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 量に着目し、二つの量を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級個別	12
2学期授業時数					22.5
3 学期	「データを活用しよう1」 (データの活用) ・身近なものを目的、用途、機能に着目して分類 ・身近なものの色や形、大きさ、目的、用途に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること ・ものともとの対応させること(例: コップと歯ブラシなど「組になるもの」) ・身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表に慣れること(例: 的当てなど)		<p>(知) 身の回りのものや身近な出来事につなぐに関心をもち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身の回りのものや身近な出来事につなぐなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量や図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を身に付ける。</p>	学級個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複B類型	数学 (B)	①ゆっくり学ぶ子の「さんすう」2 (同成社)			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き、理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・適格に表したり柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「数と計算の学習をしよう1」 (数と計算) ・20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大きさを比べたりすること ・数を2ずつや5ずつのまとまりで数えること ・数を10のまとまりで数えること、10のまとまりと端数に分けて数えたり書いたりすること ・具体物を分配したり等分したりすること	①	(知) 20までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、簡単な計算を解くことができる技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、もの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら、学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10
	「図形の学習をしよう1」 (図形) ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすること ・前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと ・傾斜をつくと角ができること ・扇形の教材で学習 ・ミニカーを傾斜を変えて走らせること		(知) 身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りのものの形に着目し、ぴったり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を身に付ける。 (学) 図形や数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。		
1学期授業時数					19.5
2 学期	「数と計算の学習をしよう2」 (数と計算) ・10の補数が分かること ・加法の合併や増加についての理解 ・加法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・1位数と1位数の加法の計算 ・1位数と2位数の和が20までの加法の計算 ・減法の求残や減少についての理解 ・減法を式に表したり、式を読み取ったりすること ・20までの数の範囲で減法の計算	①	(知) 20までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付ける。 (思) 日常の事象について、もの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を身に付ける。 (学) 数量の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
	「測定の学習をしよう1」 (測定) ○身の回りのものの量の単位と測定 ・比べ方の学習(直接比較、間接比較) ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること ・0cmずつ切る学習 ○時刻や時間 ・アナログ時計、時刻の読み方 ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について 知り、それらの関係の理解 ・朝、昼、晩、昨日、今日、明日の区別 ・タイマーの理解		(知) 身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量と比較したり、量の大小及び相関関係を表現したりする力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。		
2学期授業時数					22.5
3 学期	「データを活用しよう1」 (データの活用) ・ものともとの対応やもの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読み取りすること ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること ・天気調べ、ボウリング遊び等 ・事柄の多少を棒グラフに表すこと		(知) 身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付ける。 (思) 身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したり、データ数を記号で表現したりして、考える力を身に付ける。 (学) 数量や図形の違いを理解し、数学で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を身に付ける。	学級 個別	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部第1学年 重複B類型	音楽	①おんがく☆☆☆(東京書籍)			
目標	<p>(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。</p> <p>(学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	<p>「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」 ・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」を通しての挨拶 「朝の会の歌、帰りの会の歌」 ・呼び掛けとこたえを取り入れた発声の練習 「季節の歌」 「学校行事に向けての歌」 「エコーソング」 「音楽に合わせた身体表現」 「ボディーパーカッション」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現 ・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現 ・様々な歌を通して友達との関わり合い</p>	①	<p>(知) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付く、音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができる。 (学) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p> <p>【共通教材】 生徒の生活年齢及び発達段階に応じた、日常生活に関連した曲 「茶つみ」(文部省唱歌) 「うさぎ」(日本古謡) 「ふじ山」(文部省唱歌) 「子もり歌」(文部省唱歌) 「さくらさくら」(日本古謡) ※1曲以上適切に取り扱うようにする。</p>	学級グループ	
	<p>「校歌を知ろう」 (表現「歌唱」) ・本校の校歌の歌詞の理解と歌唱</p>	①	<p>(知) 校歌の雰囲気と歌詞で表されている情景やイメージとの関係に気付く、発声の仕方に気を付け、友達と合わせることを意識して歌うことができる。 (思) 校歌の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 校歌を斉唱する中で、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	1
	<p>「リズムを観しよう1」 (表現「音楽づくり」) ・特徴的なリズムと旋律を意識した歌唱 ・簡単な拍打ちやリズム打ちの練習 ・リズムや速度を意識した演奏 ・身の回りの音、簡単なリズム・パターンを取り入れた音楽づくり</p>	①	<p>(知) いろいろな音の響きや、リズム・パターンや短い旋律のつながりが生み出す面白さに気付く、発想を生かし、思いや意図に合った表現をすることができる。 (思) リズムの学習活動を通して、どのように音楽を作るのかについて発想を得るとともに、音を音楽へと構成することに思いや意図をもつことができる。 (学) リズムの学習活動で、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	10
1学期	<p>「たのしくコンサート1」 (鑑賞) ・歌唱表現や小奏楽の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞</p>	①	<p>(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取り、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	2
1学期授業時数					13
2学期	<p>「みんなで演奏しよう1」 (表現「器楽」) ・楽器の演奏の練習 ・友達に合わせることを意識した演奏 ・伴奏に合わせた打楽器や旋律楽器での合奏</p>	①	<p>(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付く、リズムや速度を意識して、音に合わせて演奏することができる。 (思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 友達と演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	12
	<p>「たのしくコンサート2」 (鑑賞) ・たのしくコンサートに向けての練習 ・歌唱表現や小奏楽の演奏の発表 ・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞</p>	①	<p>(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取り、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	3
2学期授業時数					15
3学期	<p>「楽器に親しもう」 (表現「器楽」) ・音程や楽器の音色の違いについての理解 ・様々な打楽器や旋律楽器の演奏の体験 ・自由演奏や簡単なリズム打ちの練習 ・伴奏に合わせた演奏</p>	①	<p>(知) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付く、和音としての響きや旋律を奏する楽しさを味わうことができる。 (思) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学) 楽器を演奏する中で、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	4
	<p>「卒業証書授与式の歌を練習しよう1」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習</p>	①	<p>(知) 曲の雰囲気と歌詞で表されている情景やイメージとの関係に気付く、友達と合わせることを意識し、思いや意図にふさわしい動きで表現することができる。 (思) リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、歌唱や身体表現について思いや意図をもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	1
	<p>「たのしくコンサート3」 (鑑賞) ・歌唱表現や小奏楽の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞</p>	①	<p>(知) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かることができる。 (思) 曲の雰囲気や表情を感じ取り、音楽がどのように形作られているのかを捉えたりしながら、自分が気に入ったところなどを見つけて聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、音楽を味わって聴く楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を潤いのあるものにしようとする態度を身に付ける。</p>	学級グループ	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

		教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複B類型		美術	①美術「あそびの絵本 えのぐあそび」(岩崎書店)			
目標		(知) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 (思) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 (学) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
1 学期	「Tシャツのデザインをしよう」(ステンシル) ・ステンシルの技法の理解 ・紙や布を使った技法の練習 ・複数の画像や絵などから図柄の選択 ・デザインの検討、下描き ・ステンシルの技法を用いた模様の描画 ・作品の鑑賞	①	(知) ステンシルの技法の全工程を理解したり、Tシャツにステンシルをしたりすることができる。 (思) ステンシルの技法を使い、自分で決めたデザインを表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) Tシャツ作りを通して、ステンシルの技法を使って創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	6	
	「描画について知ろう」 ・道具の使い方 ・イラストに合った具体物や人を参考にした描画 ・対象の観察、形や色の特徴の捉え ・鉛筆やペン、クレヨンを使った輪郭の描画 ・クレヨンや絵の具などの選択した色を用いての着彩 ・混色について ・作品の鑑賞 ・片付けの仕方		①	(知) 見本となるイラストを見て、大まかに輪郭や形を捉えながら、描画用具を使用して模写をすることができる。 (思) 描きたいイラストを自分で選択し、彩色する色や描画用具を考えながら表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) 楽しく描画活動に関わろうとする態度を身に付ける。	学級	5
	「色をつくろう」 ・三原色を使って色を作る。 ・つくった色を塗る。		①	(知) 三原色で有彩色(白・灰・黒色を除く色)をつくるすることができる。 (思) イメージをもとに色をつくることができる。自らつくった色の美しさや面白さに気付くことができる。 (学) 楽しく色づくりに関わろうとする態度を身に付ける。	学級	2
1 学期授業時数					13	
2 学期	「思い出を表現しよう」 ・写真や映像での振り返り、描画する場面の選択 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いての描画活動(混色の体験を含む) ・作品の鑑賞	①	(知) テーマに沿った写真を見て、色や形を捉えながら、描画用具を使用して絵を描くことができる。 (思) 自分の描きたい場面の写真を選択し、彩色する色や描画用具を考えながら表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 (学) 楽しく描画活動に関わろうとする態度を身に付ける。	学級	7	
	「モザイクで表現しよう」 ・モザイクの技法の理解 ・デザインの検討、下描き ・材料の準備(モザイクタイルを手や金づちで割る、砕く) ・接着剤を使ってコルクボードへの貼り付け ・作品の鑑賞	①	(知) モザイクの全工程を理解したり、デザイン画をもとにモザイクタイルを貼ったりすることができる。 (思) 自分でデザインに合わせてモザイクタイルを割り、貼ることができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 (学) モザイクの技法で創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	8	
2 学期授業時数					15	
3 学期	「紙粘土で作ろう」 ・立体作品(ペン立てなど)の制作 ・粘土の操作(ちぎる、丸める、伸ばす、へらの操作など) ・テーマ、デザインの検討 ・紙粘土を用いての立体表現、着彩 ・作品の鑑賞	①	(知) へらや伸ばし棒の扱い方を理解し、粘土を切り取ったり、伸ばしたりすることができる。 (思) 経験したことや思ったことなどから、作品のイメージをつくり、それを作品作りに生かすことができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 (学) 粘土で創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	7	
3 学期授業時数					7	
総授業時数					35	

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複B類型	保健体育	①改定新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう（ひかりのくに）		
目標	<p>(知) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。</p> <p>(思) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「自分の体を知ろう」 「病気を予防しよう」 (保健) ・自分の体についての理解 ・身体の変化など ・健康な生活についての理解	(知) 教師の支援を受けながら、健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思) 健康な生活に必要な事柄に慣れ、感じたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康に必要な事柄をしようとする態度を身に付ける。		
	「サーキット運動Ⅰ」 (体づくり運動) ・ストレッチ ・マット・バランスボール ・直線上・曲線上を様々な方向に歩く、走る ・跳ぶ ・ミニハードルをまたぐ・跳び越す ・蹴る(シュート、的当て) ・ボール運動	(知) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 (思) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようすることができる。	学級 グループ 個別	11
	「水泳Ⅰ」 ・水中遊び ・水中での歩行(前後、左右) ・ジャンプ ・補助具などを使用したの浮き ・パタ足など	(知) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようすることができる。	学級 グループ 個別	2
1 学期授業時数				13
2 学 期	「運動会練習Ⅰ」 (体づくり運動・表現運動) (種目については、サーキット、バルーン、箱積みの競技を3年間でローテーションする。) ・種目練習(バルーン、リレー)	(知) 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく基本的な体づくり運動や表現運動をすることができる。 (思) 基本的な体づくり運動や表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動や表現運動をしようすることができる。	学級 グループ 個別	10
	「水泳Ⅰ」 (水泳運動) ・水中での歩行(前後、左右) ・ジャンプ ・補助具などを使用したの浮き ・パタ足など	(知) 教師の支援を受けながら、楽しく水の中での基本的な運動をすることができる。 (思) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようすることができる。	学級 グループ 個別	2
	「サーキット運動(走・跳の運動)Ⅰ」 (走・跳の運動) ・直線上・曲線上を様々な方向に歩く、走る ・ミニハードル ・バトンパス ・蛇腹トンネル ・くぐる ・跳ぶ ・ゴム跳び	(知) 教師の支援を受けながら、楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (思) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようすることができる。	学級 グループ 個別	3
2 学期授業時数				15
3 学 期	「サーキット運動Ⅰ」 (ボールを使った運動やゲーム) ・マット ・バランスボール ・ミニハードル ・ゴム跳び ・蛇腹トンネル ・平均台 ・マット ・跳び箱 ・ボール運動 ・野球 ・サッカー ・バスケットボール	(知) 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。 (思) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようすることができる。	学級 グループ 個別	7
3 学期授業時数				7
総授業時数				35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複B類型	自立活動			
目標	障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培うことができる。			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	6区分27項目から個々の生徒に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。 「1 健康の保持」 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事。 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事。 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5)健康状態の維持・改善に関する事。 「2 心理的な安定」 (1)情緒の安定に関する事。 (2)状況の理解と変化への対応に関する事。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。 「3 人間関係の形成」 (1)他者とのかかわりの基礎に関する事。 (2)他者の意図や感情の理解に関する事。 (3)自己の理解と行動の調整に関する事。 (4)集団への参加の基礎に関する事。 「4 環境の把握」 (1)保有する感覚の活用に関する事。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。 「5 身体の動き」 (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。 (3)日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4)身体の移動能力に関する事。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。	個別の指導計画に基づく	学級 個別	65
2 学期	「6 コミュニケーション」 (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事。 (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。		学級 個別	75
3 学期			学級 個別	35
総授業時数				175

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複B類型	総合的な学習の時間			
目標	<p>(知) 社会を取り巻く事象や地域社会、働くことについて、興味・関心をもったり、課題の解決に必要な知識や技能を身に付けたりする。</p> <p>(思) 自分たちが活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり表現したりする。</p> <p>(学) 自分で判断し、行動する意識を高めるとともに、他者と協働して課題を解決しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「総合的な学習の時間について知ろう!」 ・ICT機器の活用 ・オリエンテーション	(知) 総合的な学習の時間で行う内容を知ることができる。 (思) 総合的な学習の時間で行う内容について、楽しみな学習内容を選択したり、他者に伝えたりすることができる。 (学) 総合的な学習の時間について、期待感をもつことができる。	学級	1
	「身近なものについて調べよう」 ・ICT機器の活用 ・フィールドワーク ・課題の設定 ・情報の収集 ・整理、分析 ・まとめ、表現	(知) 本や資料、情報機器等を通して、情報を収集する方法を理解することができる。 (思) 目的に応じて収集した情報を、整理・分析し、他者に伝わるようまとめ、表現することができる。 (学) 情報の収集方法について主体的・協働的に取り組むとともに、各媒体の良さを生かしたり、自分に合った媒体を使用したりして、収集した情報を積極的に発信することができる。	学級	10
	「平和について考えよう! (身近な平和)」 ・グループワーク ・身近な平和について	(知) 友達との関わりで、良い関わりとそうでない関わりについて知り、適切な関わり方を身に付けることができる。 (思) 友達との関わりについて、伝え方や態度などで良い方法を選択したり、考えたりすることができる。 (学) 身近な人との関わりにおいて、適切な方法で関わりをもとうと意識することができる。	学級	2
1 学期授業時数				13
2 学期	「自分と友達の良さを見付けよう! (自分)」 ・ICT機器の活用 ・グループワーク ・自分の良いところを考える ・集団での自分の役割 (良いところの活かし方) を考える ・名刺、カード、ワークシートなどの制作 ・発表、交流 (名刺交換など)	(知) 自己の個性を肯定的に捉え、自己の良さや可能性に気付くことができる。 (思) 自分の個性をよく知り、尊重することを通して、集団の一員としての役割を自覚することができる。 (学) 自己理解を一層深めるとともに、多様な他者のよさや違いに気付き、ともに生きる人間として尊重することができる。	学級	4
	「地域について調べよう! (出島)」 ・フィールドワーク ・課題の設定: 出島について知る ・情報の収集: 写真を撮る、タブレットの活用 ・整理分析: 地図の作成 ・まとめ・表現: エリアごとににつなげて、1枚の地図にする。交流	(知) 出島にあるお店や会社などについての事柄や課題に関する探究的な活動を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思) 出島についての課題を見つけ、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学) 出島について調べたことを地図や新聞にして、学んだことや感じ取ったことをもとにして、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	学級 グループ	7
	「高等部文化祭について知ろう!」【進路学習】 ・フィールドワーク	(知) 高等部について、興味・関心をもち、知ることができる。 (思) 高等部について、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	4
2 学期授業時数				15
3 学期	「校内で働く人にインタビューしよう」【進路学習】 ・インタビューを行う人や日程について知る。 ・内容や役割を決める。 ・練習を行う。 ・インタビューを行う。 ・内容を振り返り、新聞等にまとめる。 ・新聞等の交流・発表を行う。	(知) 働くことについて、興味・関心をもち、集団の一員としての役割を理解する。 (思) 将来に対する漠然とした夢や憧れを抱くとともに、活動したことや調べたことについてまとめ、伝えたり、表現したりする。 (学) 自分の良さや個性が分かり、自己と他者の違いに気付き、尊重しようとしながら、他者と協働して解決しようとする。	学級	7
3 学期授業時数				7
総授業時数				35